



2026年6月22日

各位

会社名 株式会社 アイリッジ
代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号: 3917 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 森田 亮平
(TEL. 03-6441-2325)

(数値データ訂正)「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の 一部訂正について

2026年5月8日に公表した「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので、あわせてお知らせします。なお、訂正部分には下線を付して表示しています。

記

1. 訂正の理由

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、当該箇所の訂正を行うものです。なお、本訂正による連結経営成績及び連結財政状態への影響はありません。

2. 訂正の内容

- ・添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」

【訂正前】

(ビジネスプロデュース事業)

ビジネスプロデュース事業では、既存顧客との取引は堅調に推移した一方、一部の大型案件の受注時期のずれ込みの影響を受けました。費用面では、広告等の利益率の低い案件の割合が上昇したことにより売上総利益率が低下したほか、今後の事業拡大を見据えた組織体制の強化を継続したことにより、販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、当セグメントの売上高は 1,845,822 千円 (前連結会計年度比 10.4% 増) となり、セグメント利益は 110,997 千円 (前連結会計年度比 22.3%減) となりました。

【訂正後】

(ビジネスプロデュース事業)

ビジネスプロデュース事業では、既存顧客との取引は堅調に推移した一方、一部の大型案件の受注時期のずれ込みの影響を受けました。費用面では、広告等の利益率の低い案件の割合が上昇したことにより売上総利益率が低下したほか、今後の事業拡大を見据えた組織体制の強化を継続したことにより、販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、当セグメントの売上高は 1,714,532 千円 (前連結会計年度比 2.5% 増) となり、セグメント利益は 110,997 千円 (前連結会計年度比 22.3%減) となりました。

・添付資料 11 ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書」

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少)	55,234	18,478
未払金の増減額 (△は減少)	38,130	61,568
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,694	△1,495
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,700	△1,811
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	8,908	596
預り金の増減額 (△は減少)	△284,084	301,502
その他	△31,496	△2,628
小計	42,350	960,179
利息及び配当金の受取額	1,421	5,503
利息の支払額	△10,423	△16,232
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	20,561	△90,389
営業活動によるキャッシュ・フロー (以下省略)	53,911	859,061

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少)	55,234	△412
未払金の増減額 (△は減少)	38,130	61,568
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,694	△1,495
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,700	△1,811
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	8,908	596
預り金の増減額 (△は減少)	△284,084	301,502
その他	△31,496	16,261
小計	42,350	960,179
利息及び配当金の受取額	1,421	5,503
利息の支払額	△10,423	△16,232
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	20,561	△90,389
営業活動によるキャッシュ・フロー (以下省略)	53,911	859,061

- ・添付資料 13 ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記) 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報」

【訂正前】

(前略)

当連結会計年度 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アプリ ビジネス事業	ビジネス プロデュース 事業	フィンテック 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,296,264	1,696,003	91,847	7,084,115	—	7,084,115
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,311	<u>149,819</u>	—	<u>151,131</u>	<u>△151,131</u>	—
計	5,297,576	<u>1,845,822</u>	91,847	<u>7,235,246</u>	<u>△151,131</u>	7,084,115
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,040,187	110,997	△27,656	1,123,528	△1,010,332	113,195
セグメント資産	<u>1,900,977</u>	<u>977,232</u>	—	<u>2,878,210</u>	<u>2,784,244</u>	5,662,455
その他の項目						
減価償却費	<u>342,088</u>	5,582	26,524	<u>374,195</u>	<u>19,568</u>	393,764
持分法適用会社への 投資額	105,473	—	—	105,473	—	105,473
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	483,469	611	42,520	526,600	138,623	665,223

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額のうち、5,272 千円はセグメント間取引消去、△1,015,604 千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。
3. セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産 2,846,580 千円及びセグメント間債権債務消去△62,335 千円が含まれています。
4. 「フィンテック事業」については、2025 年 7 月 1 日付で、同事業を構成する当社の連結子会社であった株式会社フィノバレーの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したため、売上高及びセグメント損失は、2025 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの実績となります。

【訂正後】

(前略)

当連結会計年度 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アプリ ビジネス事業	ビジネス プロデュース 事業	フィンテック 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,296,264	1,696,003	91,847	7,084,115	—	7,084,115
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,311	<u>18,529</u>	—	<u>19,840</u>	<u>△19,840</u>	—
計	5,297,576	<u>1,714,532</u>	91,847	<u>7,103,955</u>	<u>△19,840</u>	7,084,115
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,040,187	110,997	△27,656	1,123,528	△1,010,332	113,195
セグメント資産	<u>1,909,421</u>	<u>920,724</u>	—	<u>2,830,146</u>	<u>2,832,308</u>	5,662,455
その他の項目						
減価償却費	<u>337,826</u>	5,582	26,524	<u>369,934</u>	<u>23,830</u>	393,764
持分法適用会社への 投資額	105,473	—	—	105,473	—	105,473
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	483,469	611	42,520	526,600	138,623	665,223

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額のうち、5,272 千円はセグメント間取引消去、△1,015,604 千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

3. セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産 2,846,580 千円及びセグメント間債権債務消去△14,271 千円が含まれています。

4. 「フィンテック事業」については、2025 年 7 月 1 日付で、同事業を構成する当社の連結子会社であった株式会社フィノバレーの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したため、売上高及びセグメント損失は、2025 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの実績となります。

以 上